

平成23年度  
実施事業

事務事業名 有害鳥獣駆除経費

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	3	ゆとりある酪農・畜産経営の促進
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 11 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産 G
-----	-------	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	有害鳥獣による農林業及び生活環境被害の防止を推進し、農林業の発展及び安定した市民生活の維持を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	(社)北海道猟友会室蘭支部鳥獣捕獲協議会に業務委託し鳥獣の駆除を実施する。  【平成23年度事業実績】 委託期間 4月14日～3月29日 駆除頭数 キツネ10頭、カラス24羽、エゾシカ177頭、アライグマ140頭、タヌキ8頭 合計359頭(羽)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	エゾシカとアライグマの被害が特に多発している状況を踏まえ、これらの駆除に重点的に取り組む。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称 北海道権限委譲事務交付金	千円			252	252	252
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	702	783	1,607	1,607	1,607
事業費合計			702	783	1,859	1,859	1,859

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	駆除頭(羽)数	頭(羽)	目標値	150	200	230	235	240
			実績値	201	359			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>現状の状態 エゾシカ及び特定外来生物のアライグマの増加により、農林業への被害と家庭菜園の食害など、市内一円に被害が拡大している。</p> <p>問題点、課題等 有害鳥獣の駆除を業務委託しているが、市民等からの捕獲依頼や捕獲頭羽数の増加から、委託業務時間が増加している。また、有害鳥獣捕獲器の不足により対応が遅れることがあった。</p>	<p>現状を踏まえ、委託料の増加及び有害鳥獣捕獲器の購入により、捕獲頭数を増やし、鳥獣被害の軽減化を図る。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）				《Check》
<b>1. 事務事業の妥当性について</b>				
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	鳥獣による農作物等の被害は、被害者自ら行うことには限界があるため、市が実施主体として行うことは妥当である。	
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である			
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である			
	国、道、民間等の事業と重複・類似している			
<b>2. 事務事業の必要性について</b>				
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	市民や農業者からの捕獲の要望が増加し、有害鳥獣の個体数も増加しているため必要性の高い事業である。	
	市民アンケートの結果から必要性が高い			
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い			
	市民の大部分が関連することから必要性が高い			
<b>3. 事務事業の効率性について</b>				
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	専門家に業務委託することにより効果的に駆除が行われている。	
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い			
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない			
	将来的に効率性を向上できる			
<b>4. 事務事業の成果について</b>				
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	農業者や一般市民からの鳥獣等に関する苦情に対し、被害を最小限に食い止めるための効果的な駆除が行われている。そのため駆除頭数が増加している。	
	市民、団体等の声から成果を感じられる			
	目に見える形で成果があがっている			
	成果の把握は困難である			

担当グループによる評価		《Check》
<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	有害鳥獣が増加している現状で、農林業被害や生活環境被害を最小限に食い止めるには、有害鳥獣を捕獲し個体数調整を図る必要があり、今後も事業を継続する。

行政評価会議による評価		《Check》
<b>維持</b>	備考	